



<報道関係者各位>

すみだ北斎美術館 企画展のご案内

「北斎の橋 すみだの橋」

を開催いたします。



『絵本隅田川 兩岸一覽』『両国納涼 一の橋弁天』『無縁の日中』(通期)

緊張感漂う橋・多くの人が行き交い賑わいを感じる橋、そして現代の橋まで。
北斎の生きた時代と現代を“橋”でむすぶ美術展

本展は、北斎の描く橋を通して、北斎が生涯の多くをすごした すみだ という地域にも焦点を当て多くの橋をご紹介します。展覧会です。

公共通路として重要な橋は、その地域のランドマーク(象徴)となることが多く、北斎も多くの作品を残しています。橋の構造から、パノラマ視点で描く周辺の景観まで、北斎の浮世絵は、その圧倒的な表現力で観ている人の感性に響いてきます。

北斎が描く橋を手がかりに、すみだ地域の橋の歴史やその構造もご紹介。インフラという本来の意義を越えた、橋の文化的側面も考察し楽しんでいただく企画展です。

7月31日に入館者数50万人を超えるなど、多くのお客様がお越しいただく中、本展は、**2018年度の目玉の企画展**となります。

浮世絵に加え、墨田区内の貴重な歴史的資料をご紹介しますことで、当館従来の企画展とは一味違った展覧会となっています。堅苦しい構えは必要ありません。好奇心のまま、じっくりご鑑賞ください。

目次

■ 展示構成および本展の見どころ	P. 02	■ 開催概要	P. 06
■ 関連イベントのお知らせ	P. 04	■ 今後の企画展予定	P. 07
■ 割引サービスのお知らせ	P. 05		

報道関係の方の
お問い合わせ先すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp

すみだ北斎美術館

■ 展示構成および本展の見どころ

～ 1章 北斎の橋～

「諸国名橋奇覧」シリーズなど北斎や門人が描いた橋が集結

北斎は、名所の橋だけでなく、江戸時代の様々な橋の構造に注目。緊張感漂う一直線のつり橋、大きく弧を描くのどかな太鼓橋など、北斎なりの視点で捉えた代表作「諸国名橋奇覧」の風景画を、本展では前後期で全11点を初めてシリーズとして展示します。また、夢の中で見た橋を一図にした「百橋一覽」では、一図の中に様々な構造の橋が詰め込まれており、その多種多様さも圧巻です。名作「富嶽三十六景」シリーズからも「御厩河岸より両国橋夕陽見」などが展示され、北斎とその門人が描いた橋が集結します。



特徴のある橋の形状に注目！今でも残る山口県の名所です



「諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし」(通期)



アクロバティックなつり橋は、スリル満点！



「諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし」(前期)



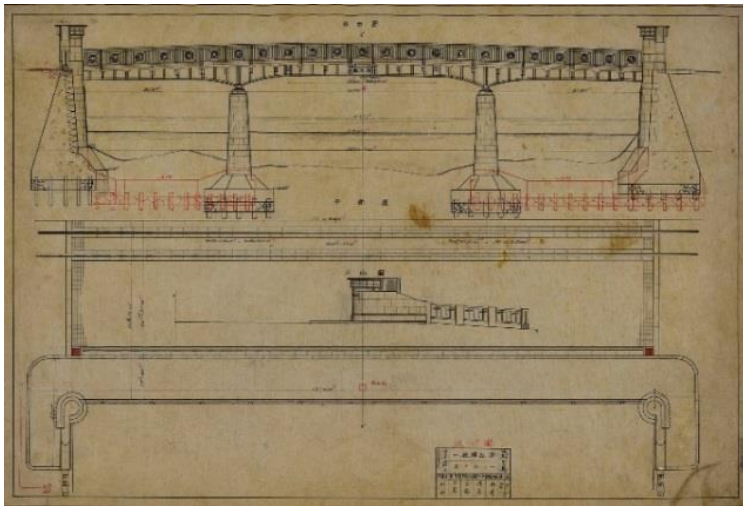
～2章 すみだの橋～

現存する北斎の描いた橋たちの、知られざる歴史を紐解く

北斎が暮らした すみだ の地域は、江戸時代、大河である隅田川の流れに加え、江戸市中の拡大に伴って整備された川や、農業用水として引かれた川、下水などのための小さな川など、大小さまざまな川がありました。

古来より橋は、人々が交通のために川や谷といった自然を克服する一手段として架設されてきました。橋の構造や種類は、各時代における政治的、技術的制約の中で様々に発展しており、その背景には、建設に携わった人、橋が架けられる地域の人など、多くの人々の思いがあります。

第2章では、すみだの橋を取り上げ、北斎が生きた時代の橋以降の変遷を、錦絵に描かれた橋だけでなく、絵葉書や、図面、立体物など様々な関連資料から多角的に迫っていきます。墨田区の橋の歴史を紐解いていくことで、北斎や門人たちの描く橋をまた違った視点から楽しんでいただけます。



「本所四之橋 一般構造図（施巧図）」東京都建設局所蔵（通期）



「(東都名勝) 吾妻橋」絵葉書 紅林章央氏蔵（通期）

■「北斎の橋 すみだの橋」図録を販売

本展の主要作品を収録した図録を販売します。北斎の緻密な橋の描き分けを、ご自身の手元でじっくり見ていただくことができます。

また、展覧会では見ることのできない墨田区内の橋の詳細な歴史を、地図とともに解説しており、江戸を感じながら すみだ を街歩きしていただくお供に最適な図録となっています。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



当館の魅力は、企画展とともにバラエティ豊かな展示や、関連イベントなど、地域・人・芸術など《つながる》に根差した企画を実施していることです。詳細は、ホームページを通じてお知らせします。

■関連イベントのお知らせ*****

本展の注目関連イベントは、担当学芸員による解説を交えつつ、隅田川の橋をご案内するツアー「学芸員と歩く隅田川の橋めぐり」です。美術館の外へ繰り出し、展覧会をさらに楽しんでいただきます。歴史的背景なども加え、分かりやすく学芸員が橋の魅力をお伝えします。

イベント「学芸員と歩く隅田川の橋めぐり」

- ・講師：当館担当学芸員
- ・コース：吾妻橋から両国橋（予定）
- ・日時：9月22日（土）10:00～12:00
- ・定員：20名（事前申込制・先着順）
- ・料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です。）



※イメージ

<その他のイベント一覧>

1) 講演会「江戸の橋と水辺の文化」

- ・講師：西木浩一氏（東京都公文書館 統括課長代理 史料編さん担当）
- ・場所：MARUGEN100（講座室）
- ・日時：9月15日（土）14:00～15:30（開場13:30）
- ・定員：60名
- ・料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です。）

2) 講演会「隅田川 橋の歴史～明治から現代まで～」

- ・講師：紅林章央氏（東京都建設局道路建設部橋梁構造専門課長）
- ・場所：MARUGEN100（講座室）
- ・日時：10月13日（土）14:00～15:30（開場13:30）
- ・定員：60名
- ・料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です。）



3) スライドトーク「北斎の橋 すみだの橋のみどころ」

- ・講師：当館担当学芸員
- ・場所：MARUGEN100（講座室）
- ・日時：①9月30日（日）②10月28日（日）14:00～14:30（開場13:30）
- ・定員：60名
- ・料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

4) ワークショップ「アーチ橋をつくろう」

簡単な**工作を通じて、身近な橋の構造を体感**できるワークショップです。

- ・講師：403architecture [dajiba]
- ・場所：MARUGEN100（講座室）
- ・日程：10月7日（日）14:00～16:00（開場13:30）
- ・定員：15名（事前申込制・先着順）
- ・対象：小学生以上
- ・料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）



※21_21 DESIGN SIGHT 企画展「土木展」での開催の様子（2016）

※申込の詳細はHPをご覧ください



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



当館目玉の企画展開催に合わせ、
お得な割引サービスをご用意しました。

この機会をご利用いただき、気軽に北斎作品をお楽しみください。

【リピーター割引】

本展の観覧券半券をチケットカウンターでご提示いただくと、割引料金でご入館いただけます。

【メルマガ/ツイッター割引】

Twitterの割引投稿画面、また配信されたメールマガジン本文の画面、もしくはプリントアウトしたものをチケット購入時にご提示の方は、割引料金でご入館いただけます。

【すみだの「かけ”橋”」お名前割引】

本展にちなみ、お名前に「橋」のつく方（※ご本人のみ）は割引料金でご入館いただけます。入館時にチケットカウンターにて、お名前に「橋」がつかうことがわかる身分証をご提示ください。

【お誕生月割引】

芸術の秋に生まれの方は（ご本人のみ）誕生月に割引料金でご入館いただけます。入館時にチケットカウンターにて、お誕生月のわかる身分証明書をご提示ください。

※対象：9、10、11月がお誕生月の方（誕生日当日でなくても利用可）

※例：10月1日生まれの方が誕生月の10月に来館されると、企画展・常設展とも割引料金でご入館いただけます

◎上記いずれも20%割引となります

◎他の各種割引とのご併用はできません



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■開催概要

○展覧会名：「北斎の橋 すみだの橋」

○会期：2018年9月11日（火）～11月4日（日）

◎前期：9月11日（火）～10月8日（月・祝）

◎後期：10月10日（水）～11月4日（日）

※前後期で展示替えを実施

※休館日：毎週月曜日

9月17日（月）、24日（月）、10月8日（月）開館

9月18日（火）、25日（火）、10月9日（火）休館

○主催：墨田区・すみだ北斎美術館

○お問い合わせ：すみだ北斎美術館

○観覧料：AURORA（常設展示室）も観覧いただけます。

一般1,200円<960円>、高校生・大学生 900円<720円>

中学生 400円<320円>、65歳以上 900円<720円>

障がい者 400円<320円> ※< >は団体料金

※団体は有料のお客様20名以上。

※小学生以下は無料。

※中学生・高校生・大学生（高専、専門学校、専修学校生含む）は生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

※身体障がい者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の

1名まで障がい者料金でご覧いただけます。（入館の際は、身体障がい者手帳などの提示をお願いします）

◎本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA（常設展示室）もご覧いただけます。



【すみだ北斎美術館】

開館時間：9:30-17:30（入館は17:00まで）

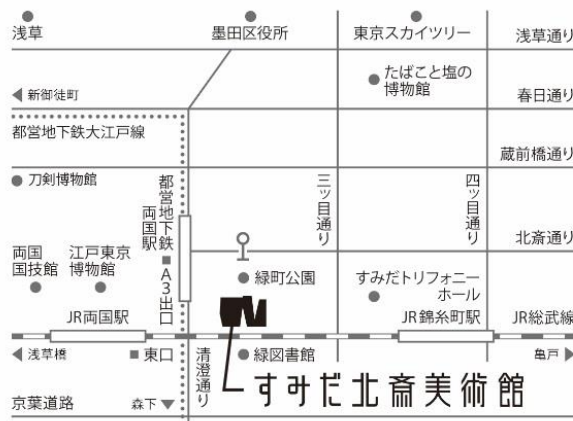
休館日：毎週月曜日（月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日）

住所：〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2

電話：03-5777-8600（ハローダイヤル）

公式サイト：<http://hokusai-museum.jp/bridge/>公式 Twitter：<http://twitter.com/HokusaiMuseum/>公式 Facebook：<http://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/>

《アクセス》



都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分

JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分

JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分

報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992

E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■今後の企画展予定

◇11月20日(火)～2019年1月20日(日)

「大江戸グルメと北斎」

「和食」は、ユネスコ無形文化遺産登録5周年を迎え、さらに世界から関心を集めています。この和食文化は江戸時代に大きく花開きます。農業や漁業が盛んになり、経済が発展し、成熟した社会の到来は人々に食を楽しむという余裕をもたらしました。また、さまざまな技法や工夫をこらした料理書や高級料理屋が登場し、食という営みは文化として磨かれていきました。北斎は、食の生産の現場や食材、ファストフードやスイーツ、高級料理からグルメを楽しむ人々まで、当時の食文化の様子を描いています。それらの作品からは、季節を楽しむ日本ならではの食との付き合いも見てとれます。

本展では、北斎一門の作品を中心とした浮世絵から、現在の食文化のルーツである江戸時代の人々の食のあり方をご紹介します。



《次回企画展関連イベント(予定)》

- ◎参加費：無料(展示会のチケットは必要)
- ◎場所：MARUGEN100(講座室)

■講演会「江戸の食文化とその魅力」

- ・講師：江原絢子氏(東京家政学院大学名誉教授)
- ・日程：12月1日(土)
- ・時間：14:00～15:30(開場13:30)
- ・定員：60名

■イベント「体験!江戸の食」

- ・講師：EAT&ART TARO氏(現代美術アーティスト)
- ・日程：12月22日(土)
- ・時間：14:00～16:00(開場13:30)
- ・定員：30名

■スライドトーク「大江戸グルメと北斎展のみどころ」

- ・講師：当館学芸員
- ・日時：11月24日(土)(和食の日)
2019年1月5日(土)
- ・時間：14:00～14:30(開場13:30)
- ・定員：60名

《次回企画展出展予定作品》



『北斎漫画』十二編「鰻登り」



「鮫鱈図」

News

仮)展示が実際に味わえる?!

江戸グルメを気軽に楽しむコラボCafé開催予定!

次回「大江戸グルメと北斎」展では、目で楽しむだけでなく、**企画展でご覧いただいた展示の一部を実際に味わえるコラボCafé**(墨田区内カフェと連動)を開催予定です。詳細は決まり次第、HPや公式SNSで情報を掲載していきますので、どうぞお楽しみに!



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館